国語科学習指導案

平成24年12月6日（木）2校時

宜野湾市立大山小学校2 年Ａ組

男子○名　女子○名　　計○名

授業者：長　浜　朝　子

1. 単元名　オリジナル説明書を書いて、１年生とおもちゃ作りをしよう！

教材名　「しかけカードの作り方」 「おもちゃの作り方」

1. 指導目標

（１）「しかけカードの作り方」

○事物の作り方に興味をもち，書かれていることを読み取ろうとしている。　　　　　【関心・意欲・態度】

◎手順，事柄の順序などに気づいて読むことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　【◆読(1)イ】

○写真と文を照応させながら読むことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【◆読(1)イ】

○順序性を示す表現の意味を理解することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　【◆言(1)イ(ウ)】

（２）「おもちゃの作り方」

○おもちゃの作り方や遊び方に興味をもち，学習したことを活かしながら，分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】

◎おもちゃの作り方や遊び方を，内容のまとまりごとに幾つかに分けて，手順沿って分かりやすく書くことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【◆書(1)ア・イ・ウ】

○おもちゃの作り方の説明書を読み合い，読んだ感想を伝え合うことができる。　　　　　　　【◆話・聞】

◎順序を表す接続語（つなぎ言葉）を用いて，説明書を書くことができる。　　　　　　　【◆言(1)イ(ウ)】

1. 単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国語への関心・意欲・態度 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
| ・事物の作り方に関心をもち，教材文を読み取ろうとしている。・学習したことを活かして，事物の作り方を説明する文章を書こうとしている。 | ・初めから終わりまでを，内容のまとまりごとに幾つかに分けて配置し，手順に沿って書いている。【B書くこと(1)ア・イ】・絵と照応させながら書いている。【B書くこと(1)ウ】 | ・手順，事柄の順序などに気づいて読んでいる。・写真と文を照応させながら読んでいる。【C読むこと(1)イ】 | ・順序性を示す表現の意味を理解している。・順序を表す表現を用いて書いている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ)】 |

４．単元設定について

(1) 教材観

　　 本単元は，説明文の中の「手順を読む」単元となる。写真と文を合わせて読む学習は本学年では初めてであり，今後上学年の説明的文章を読む学習につながっていく。そして，本単元で学習したことを生かして「分かりやすくせつめいしよう」を次単元に位置づけて，習得と活用の連続した単元構成となっている。 そこで，言語活動として，おもちゃの作り方を説明する文章を，１年生に向けて書くという活動を設定し，分かりやすい説明の仕方を学ぶために読んでいく教材である。

　　 まず，「しかけカードの作り方」では，分かりやすく説明するためにどのような工夫を用いて書いてあるかを読み取っていく。完成したカードが最初のページに写真で掲載されており，児童の作ってみたいという意欲を喚起づける提示になっている。本文は，〈前書き〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈使い方〉の項目ごとに説明されている。説明の工夫として，順序を表す言葉が使用されていること，具体的な数値を用いていること，数字や写真が使用されていること，作る時の注意事項が書かれていることが挙げられる。作業を伴う文章であるため，何度でもフィードバックして読むことができ，また，挿絵にあるほかのカードならばどんな言葉で説明すればよいか等，発展させることもできる教材である。

　「おもちゃの作り方」でも，「しかけカードの作り方」同様，本文は項目ごとに説明されている。また，本文中に傍線が引かれている部分があり，修飾語を用いるなど分かりやすく伝えるための工夫としてとらえさせることができる。さらに，「しかけカードの作り方」では〈使い方〉の項目が，「おもちゃの作り方」では〈遊び方〉になっている点が異なる。このように，説明するものによってふさわしい項目に書き換える必要性にも気づかせることができる。

(2) 児童観

　　 児童は11月までに，「たんぽぽのちえ」と「どうぶつ園のじゅうい」２つの説明的な文章の学習をしている。

「たんぽぽのちえ」では，時間的な順序や理由づけの言葉に着目して読み，はじめ－中－終わりに分ける学習を

してきた。「どうぶつ園のじゅうい」では，時間的順序や事柄の順序を考えながら読み，感想をまとめたり，文末

表現に気をつけて，自分の毎日の仕事とある日だけの仕事について書いたりすることができた。また，「今週の

ニュース」「かんさつ名人になろう」「お話のさくしゃになろう」「友だちのこと，知りたいな」で，観察文，創作

文，紹介文など様々な形式で書くことを学習しているが，文の特性に応じた書き方や原稿用紙の使い方などには，

課題のある児童もいる。

　本学級の児童が，国語の学習に対しての興味・関心や，認知の特性について調査した結果は，下記の通りであ

る。

(3) 指導観

　 　本単元では，第１学年及び第２学年「Ｃ　読むこと」の指導事項「イ　時間的な順序や事柄の順序などを考え

ながら内容の大体を読むこと」及び「Ｂ　書くこと」の指導事項「イ　自分の考えが明確になるように，事柄

の順序に沿って簡単な構成を考えること」「ウ　語と語や文と文との続き方に注意しながら，つながりのある文

や文章を書くこと」を取り上げ指導する。指導する際の言語活動例として，「Ｃ　読むこと」では「ウ　事物の

仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」，「Ｂ　書くこと」では「イ　身近な事物を簡単に説明する

文章を書くこと」を具体化し，『しかけカードの作り方』を文章構成上の順序などに気をつけて読み，１年生に

作ったおもちゃの作り方を紹介する文を書かせる。そのために，「オリジナル説明書を書いて、１年生とおもち

ゃ作りをしよう！」を単元を貫く言語活動に位置付けることで，説明的な文章を通して順序を考えながら読み，

手順に沿って説明する力を育んでいく。

　また，体験を通して内容を理解することが多いことから，実際にしかけカードを作成しながら手順を読み取

る体験活動を取り入れる。そうすることで，筆者の論の展開の仕方や説明の工夫を読み取りやすくなるであろ

う。

また，「国語のおけるアンケート」「Q-Uテスト」「アセスメントシート調査」のアンケートの結果から，自信をもって発表すること，読むことや書くことに苦手意識があるという実態が見えてきた。その反面，見通しをもった学習を好む児童が多いこと，ペア学習を取り入れた活動が有効であることも見えてきた。

　　　このような二年生における説明的な文章の学習でつけたい力と児童の実態より，本単元の指導にあたっては，

以下のような指導や支援を行う。

1. 単元との出合いの工夫（第一次）

単元の導入場面では、教師が作ったおもちゃを提示し，後輩である１年生に作り方を教えようという目

標を設定する。おもちゃを作るには，説明書が必要になることに気づかせ，分かりやすい説明書を書くた

めに「しかけカードの作り方」を読んで書き方の手順を理解させる。そして，読んだことを活かしてオリ

ジナルの説明書を書くという目的をもたせるようにする。

1. 教材へのしかけ（第二次・第三次）

　 「しかけカードの作り方」では，説明をしている文章の中に用いられている工夫を読み取っていく。本単

元で読み取らせたい説明の工夫は，次の３点である。

　・順序を表す接続語が使われていること

・具体的な数値や写真が用いられていること

　・作るときに気をつけることや注意することが書かれるなど書き方が工夫されていること

そこで，実際にカードを作る活動をしながら「写真を隠したり数値を省いたりする『しかけ』」や，「順

序を並び替える『しかけ』」など，教材にしかけをつくることで活動への意欲や内容への関心を高め，筆者

の説明の工夫について読み取らせていく。

　　　　　「おもちゃの作り方」では，「しかけカードの作り方」で学んだことがどのように使われているかを読み

取り，順序を表す接続語を用いた書き方や絵を用いるなど説明の工夫を確認させていく。自分が作ったお

もちゃの説明書を書く段階では，まず，「本文を項目ごとに分けずに書いた文を提示して考える材料にする

『しかけ』」を使い，４つの項目に分かれた構成に気づかせていく。

1. ペアによる活動

単元を通して，ペアやグループで理由や答えを考えたり，一緒にカードを作ったりする活動を取り入れ

る。ペアでの活動は，全員が授業に参加しやすい活動である。１人では探しにくい理由や答えを複数で話

し合うことで教材に関わる見方も深まる。また，ペア→全体と学習形態の場を徐々に広げていくことで，

自信をもって発表ができるようにしていく。

　　　このような学習を通して得られる能力や態度は，生活科や学級活動などさまざまな場面で活かすことのでき

る力となる。家庭においても，簡単な料理を作ってみるときに，袋に書いてある作り方を正しく読み取ること

など，日常生活に生きて働く力が育てられると考える。

５．指導計画と評価計画（全10時間）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 次 | 時 | ・学習活動 | ・指導上の留意点★指導内容※しかけ | 学習活動に即した【評価規準】(評価方法) | 個別の配慮及び支援 |
| 単元を貫く言語活動　　オリジナル説明書を書いて、一年生とおもちゃ作りをしよう！ | 第一次教材に出合う | １ | ・「しかけカード」がどのようなものかを知る。・学習計画を立てる。 | ・手作りおもちゃを見せ、1年生に伝えたいという意欲をもたせる。・自分が選んだおもちゃの作り方の説明書を書くことを知らせ、筆者の説明の工夫を見つけようという学習課題を設定する。 | 【関】オリジナル説明書を書くことに関心をもち、学習計画について話し合おうとしている。（観察・発言・ノート） | ・板書と同じワークシート |
| 第二次　説明の工夫を見つける | ２ | ・教材文の文章構成を読み取らせる。・カードの土台を作成する。 | ・４つの項目があることに気づかせる。★小見出し※順序並び替えるしかけ（小見出し・写真） | 【読】文章の構成に気づきながら読んでいる。（観察・発言・ノート・作品） | ・手元でカードの並べ替え・ペア学習・カード作り（実演）・板書と同じワークシート |
| ３ | ・〈作り方〉を読みながら、カードを作成する。 | ・文章や写真に着目して作成させる。★写真や長さ・気をつける文があることのよさ※順序を並び替えるしかけ（文）※写真や数値を隠すしかけ | 【読】事柄の順序性を考え、文章と写真を合わせながら読み、カードを作っている。(観察・発言・ノート・作品) | ・手元でカードの並べ替え・ペア学習・カード作り（実演）・板書と同じワークシート |
| ４ | ・筆者の説明の工夫を整理しまとめる。 | ・順序を表す言葉を使うよさ、数値や写真を使うよさ、作り方のこつや気をつけることの文があるよさに気づかせる。 | 【読】カード作りの体験をもとに、文章を読みながら説明のこつを見つけている。【言】順序性を表す表現の意味を理解している。(発言・観察・ノート) | ・ペア学習・板書と同じワークシート |
| 第三次　オリジナル説明書を書く | ５ | ・「けん玉の作り方」を読み、説明の工夫を見つける。・オリジナル説明書の〈前書き〉〈材料と道具〉を書く。 | ・４つの構成のうち〈前書き〉〈材料と道具〉に焦点化する。★小見出し※本文をリライトしたしかけ | 【読】中村さんの説明書を読んで、説明の工夫の使い方を確かめている。（観察・発言）【書】説明の工夫を使って説明書を書いている。(説明書の記述内容) | ・ペア学習・リライト文と教材文が書かれたカードを手元で見る・板書と同じワークシート |
| ※６(本時)・７ | ・オリジナル説明書の〈作り方〉と〈使い方・遊び方〉を書く。 | ・４つの構成のうち〈作り方〉〈使い方・遊び方〉に焦点化して書かせる。★順序を表す言葉　★長さを表す言葉★気をつけることの文★絵と文の照応※順序を並べ替えるしかけ | 【書】説明の工夫を使って説明書を書いている。【書】順序を表す言葉を使って、つながりのある文章を書いている。【言】「しかけカードの作り方」で学んだ表現を文章の中に活かしている。（説明書の記述内容） | ・ペア学習・手元でカードの並べ替え・段落(文)の色分け・二種類の短冊シート（罫線・マス目）・説明のこつを入れた短冊シートの利用・絵カードの利用（見て描く・カードを貼る） |
| ８ | ・ペアで説明書を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめ、清書をする。 | ・読み返しの観点を示す。★順序を表す言葉★長さを表す言葉★気をつけることの文★絵と文の照応 | 【書】説明書を読み返し、自己批正している。(説明書と付箋紙カード) | ・ペア学習(教師の介入)・見直し表の利用・教師のリード |
| ９ | ・グループで説明書を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめる。 | ・読み返しの観点を示す。★順序を表す言葉★長さを表す言葉★気をつけることの文★絵と文の照応 | 【話】作品を読み合い説明の工夫を使って書いているか確かめ、感想を伝え合っている。(説明書と付箋紙カード) | ・グループ学習(教師の介入)・見直し表の利用 |
| 10　　　 | ○他の説明書や手順書を読む。○単元を通して身についた力を確認する。 | ・教材文や自分で書いた説明書の工夫と似ているところ、よりよい説明などに着目して、工夫を見つけさせる。 | 【関】事物を説明している本に関心をもち、説明の工夫に気づきながら読んでいる。(発言・ノート) | ・ペア学習(教師の介入)・まとめの書き出しの提示 |

６．本時の指導（６／10時間）

　（１）ねらい

　　　「どんな順番？」ゲームを通して説明のこつを確かめることにより，オリジナル説明書の〈作り方〉を書くことができる。

　（２）授業仮説

　　　　展開１の場面において，順序がばらばらに提示されたセンテンスカードを並べ替えることによって順序を

表す言葉などのよさや説明のこつを確かめることで，そのこつを活用しながらオリジナル説明書の〈作り方〉

を書くことができるであろう。

　（３）展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動・内容 | 指導の工夫 | 個別の配慮 | 評価 |
| 導入　　　展開一〈説明のこつの確認〉　　　　　展開二〈オリジナル説明書の作り方を書く〉　　まとめ | １. 前時の学習を振り返る。２．〈作り方〉の部分のカードを並べ替えて，正しい順番について話し合う。・ペアで話し合う。・各段落の注意する文を探す・「それから」の段落の傍線の言葉の言い換えをする。・段落の役割を考えながら，〈作り方〉のまとまりを役割音読する。３．めあての確認をする。３つのこつを入れて，〈作り方〉をわかりやすく書こう４．オリジナル説明書の〈作り方〉を書く。・一工程ごとに書く。・書いたものを読み返す。 ６．本時の学習を振り返る。・感想を書き，ペアに話す。７．次時予告をする。 | ・バラバラに提示されたカードをペアで並べ替える。どの言葉に着目したかを話し合わせる。・「『きつく結ぶ』まで書かなくてもいいのでは？」等の揺さぶり発問で，注意する文の必要性に気づかせる。・傍線の部分を動作化して，言い換えの言葉を見つけさせる。・役割音読で段落の役割を確かめる。　・短冊カードに一工程ごとに書かせる。・学習の足跡の掲示物を参考にさせる。・手順が分かる絵を掲示し，作り方を想起させる。・必要に応じて絵カードを配布する。・2/4段落までは書けるようにする。・説明の工夫を使って書くことができたかどうかを振り返らせる。・次時は，続きと〈使い方・遊び方〉を書くことを知らせる。 | ・ペアでミニカードを実際に並べ替えさせて考えさせる。・実演してイメージ化を図る。・動作化の際，役割を与える。・段落ごとに色分けしておく・説明のこつを入れた短冊カードを用意する・絵は切って貼ってもよいことにする。・1/4段落まで書けるようにする。・書き出しの言葉を与え，続きを書くようにする。 | 【書】説明の工夫を使って説明書を書いている。【書】順序を表す言葉を使って，つながりのある文章を書いている。【言】「しかけカードの作り方」で学んだ表現を文章の中に活かしている。（説明書の記述内容） |

　（４）評価

　　「どんな順番？」ゲームを通して説明のこつを確かめることにより，オリジナル説明書の〈作り方〉を書くことができたか。

（５）板書計画

☆せつ明の三つのこつ

①じゅんじょのつなぎ言ば

　　まず・つぎに・それから・さいごに

②数字（長さ・数）

③気をつける文（～に気をつけましょう）

　　　おもちゃの作り方

　めあて

　◎三つのこつを入れて、〈作り方〉を

　　わかりやすく書こう

〈作り方〉

　◎どんなじゅん番？

　　　　　　　　　①まず、～をする

　　　　　　　　　②数字(長さ・数)

　　　　　　　　　③気をつける文

　①つぎに、～をする

　②

　③

　　　　　　　　　①それから、～をする

　　　　　　　　　②

　　　　　　　　　③

①さいごに、～をする

　　　　　　　　　・できあがりです

　まとめ

　◎三つのこつを入れて書くと、

ウ紙コップに、カラーペン～

アそれから、

その毛糸を～

イつぎに、

毛糸の～

エまず、毛糸のはしを、～

（６）座席表

黒　板

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ぜろう | ☆るな |  | ★ゆうと・注意持続・語のまとまり・書くこと | かいしゅう |  | そうま | ☆みさき |  |
| ★ことね・言語理解・書き写し | あずさ |  | ★あゆり・場面緘黙・書き写し | ゆりあ |  | ★さく丸・注意持続・書き写し | りんな | いっせい |
| 京吾 | わこ |  | 晴也 | あやか |  | 友一郎 | ひな |  |
| ゆあ | せいゆ |  | みゆう | 太陽 |  | もえか | りく |  |
|  |  |  | 良 | まどか |  |  |  |  |

★個別の配慮が必要な児童

☆視覚情報への着目の仕方に課題が見られる児童

　氏名QUの結果より学習意欲が低い児童

＊協力願い

　授業後，回収します。

　ご協力よろしくお願いします。